

KAWAI

もっと伝えたい、感動を。



2023年3月期（第96期）

第2四半期決算説明資料

2022年11月25日

株式会社 河合楽器製作所

■ 2023年3月期第2四半期連結業績

- ・売上高は、中国ロックダウンの影響を受けたものの円安進行により増収
- ・営業利益は、為替影響や原材料費・海上輸送費の高騰等により減益
- ・主力の鍵盤楽器販売は、「Shigeru Kawai」をはじめグランドピアノが堅調に推移

■ 2023年3月期通期連結業績計画

- ・通期見通しについては前回予想（5/12）を据え置き
- ・中国ロックダウンからの挽回に向け、増産対応と販売拡大に取り組む
- ・原材料やエネルギー価格の高騰など、更なるコスト上昇を懸念

2023年3月期 第2四半期 連結業績

(前期比) 楽器販売が堅調も、為替影響や海上輸送費、原材料費の高騰などにより増収減益

(計画比) 中国都市封鎖の影響の一方、海上輸送費等の抑制や為替差益により減収増益〔単位：億円〕

	2022年3月期 第2四半期実績	2023年3月期		前期 差異	前期比	計画 差異	計画比
		第2四半期計画	第2四半期実績				
売上高	414.1	435.0	420.2	+6.1	+1.5%	▲14.8	▲3.4%
営業利益 (営業利益率)	33.3 (8.0%)	21.0 (4.8%)	24.3 (5.8%)	▲9.0	▲27.0%	+3.3	+15.7%
経常利益 (経常利益率)	35.4 (8.5%)	20.0 (4.6%)	28.6 (6.8%)	▲6.8	▲19.2%	+8.6	+43.0%
四半期純利益 (四半期純利益率)	23.4 (5.7%)	13.0 (3.0%)	17.6 (4.2%)	▲5.8	▲24.8%	+4.6	+35.4%
為替レート							
US\$	107.7円	122.7円	122.9円	+15.2円		+0.2円	
EURO	129.8円	134.8円	134.3円	+4.5円		▲0.5円	

※ 四半期純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益です。

楽器教育事業では楽器販売を中心に増収であったが、素材加工事業・その他の事業では減収

〔単位：億円〕

		2022年3月期 第2四半期実績	2023年3月期 第2四半期実績	前期差異	前期比
楽器教育	売上高	337.8	353.2	+15.4	+4.6%
	営業利益	24.8	17.6	▲7.2	▲29.0%
	(営業利益率)	(7.3%)	(5.0%)		
素材加工	売上高	53.6	51.9	▲1.7	▲3.2%
	営業利益	8.6	6.6	▲2.0	▲23.3%
	(営業利益率)	(16.0%)	(12.7%)		
その他	売上高	22.7	15.0	▲7.7	▲33.9%
	営業利益	0.1	0.1	±0.0	0.0%
	(営業利益率)	(0.4%)	(0.7%)		

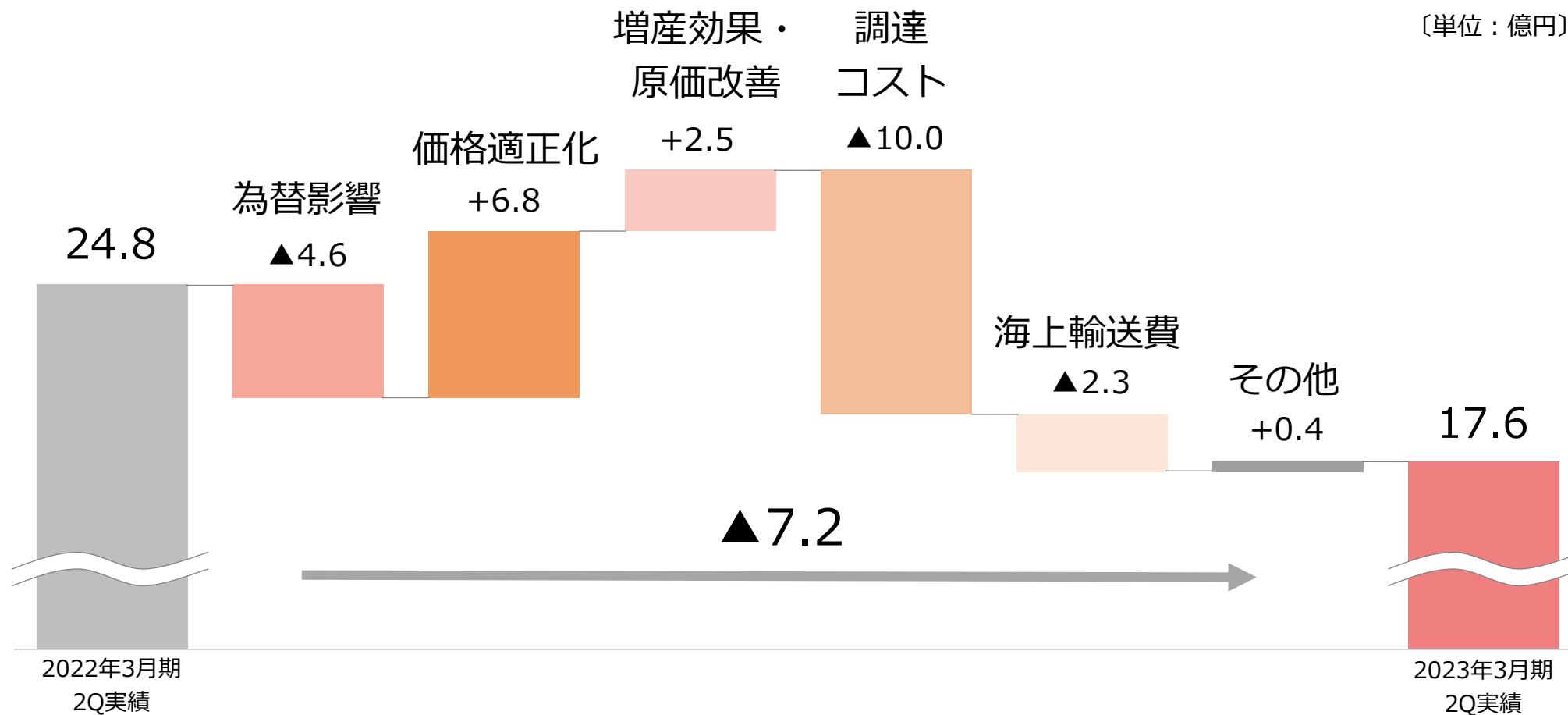
資産は、在庫ひっ迫からの改善等による棚卸資産の増加により前期末比増
 純資産は、四半期純利益及びその他の包括利益により前期末比増

〔単位：百万円〕

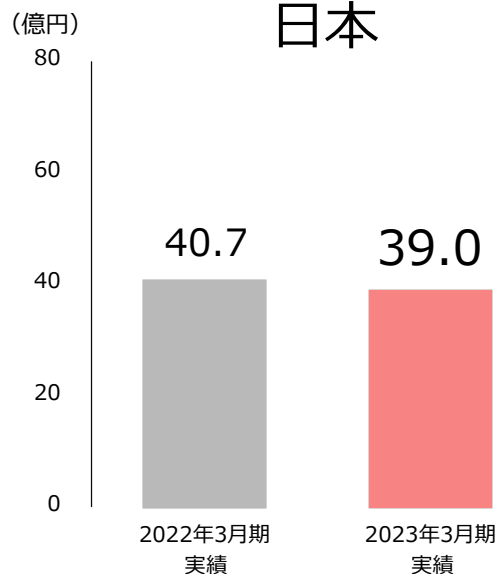
	2022年3月期 実績	2023年3月期 第2四半期実績	前期末比
資産	68,391	70,747	+2,356
負債	34,831	33,150	▲1,681
純資産	33,559	37,597	+4,038
自己資本比率	48.8%	52.9%	+4.1%

2023年3月期 第2四半期 鍵盤楽器販売の概要

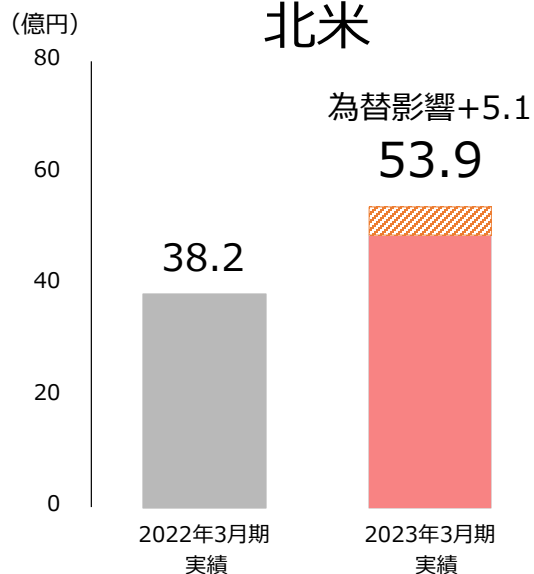
為替影響やコスト上昇に対して価格適正化を進めるものの前期比減



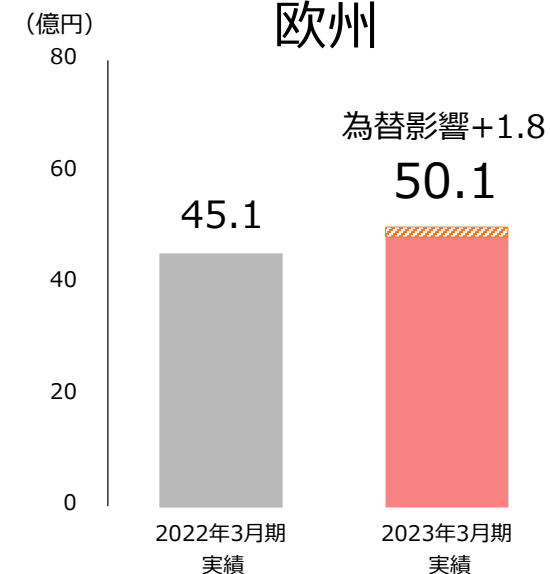
日本



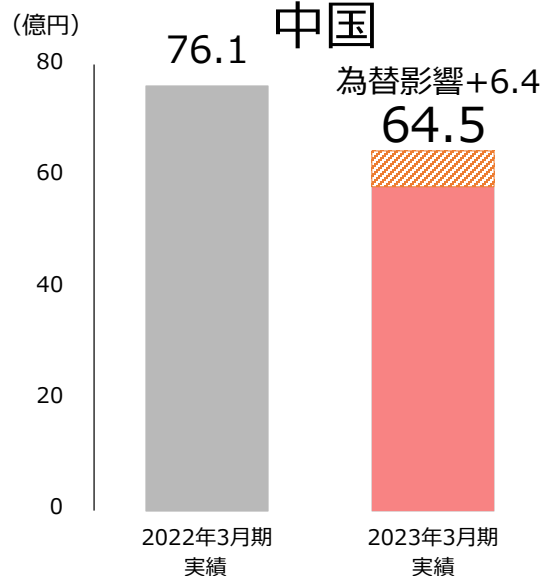
北米



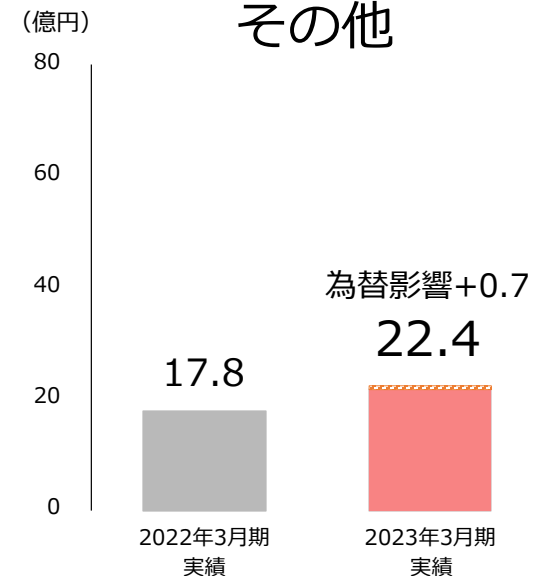
欧州



中国



その他



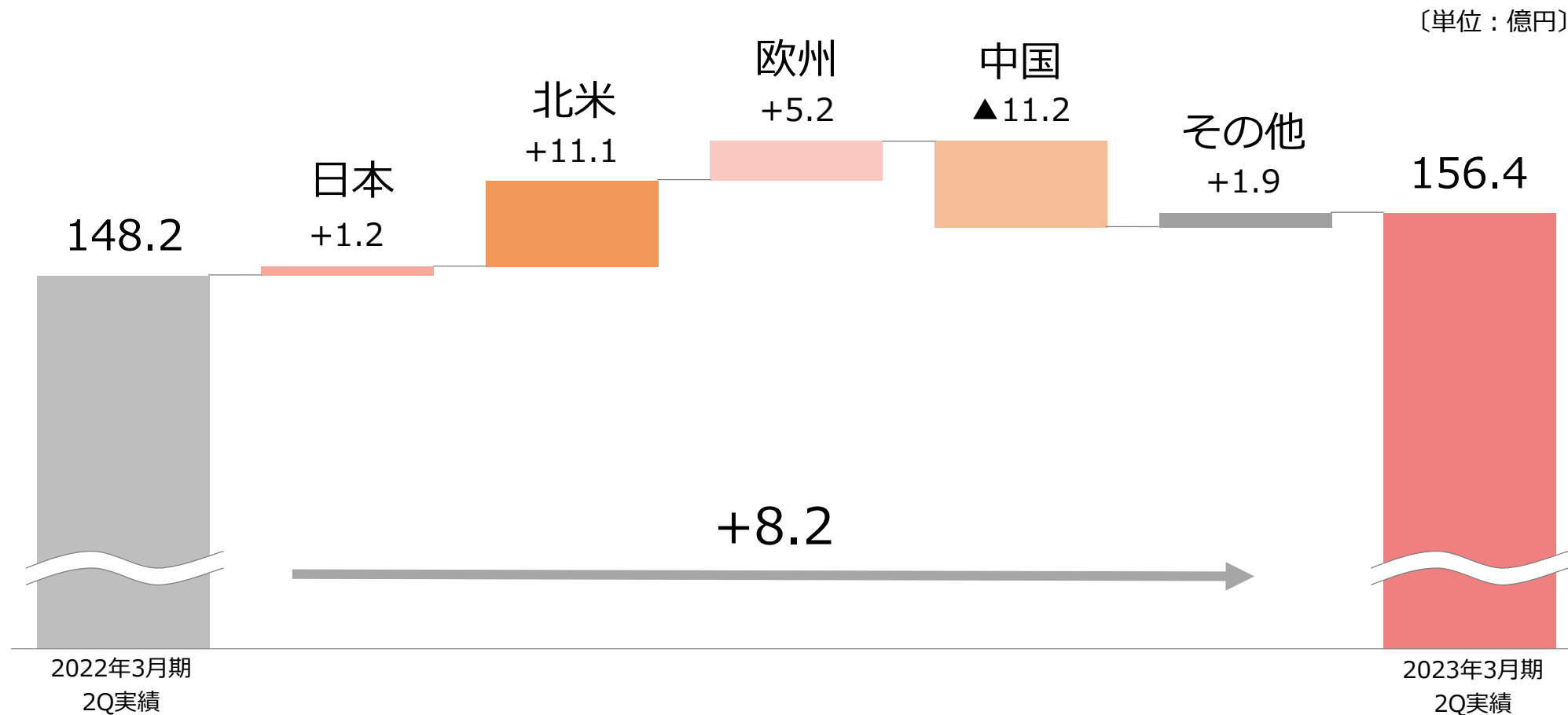
レート	2022年 3月期実績	2023年 3月期実績
\$	107.7	122.9
€	129.8	134.3

1円 円安変動での影響度【営業利益】

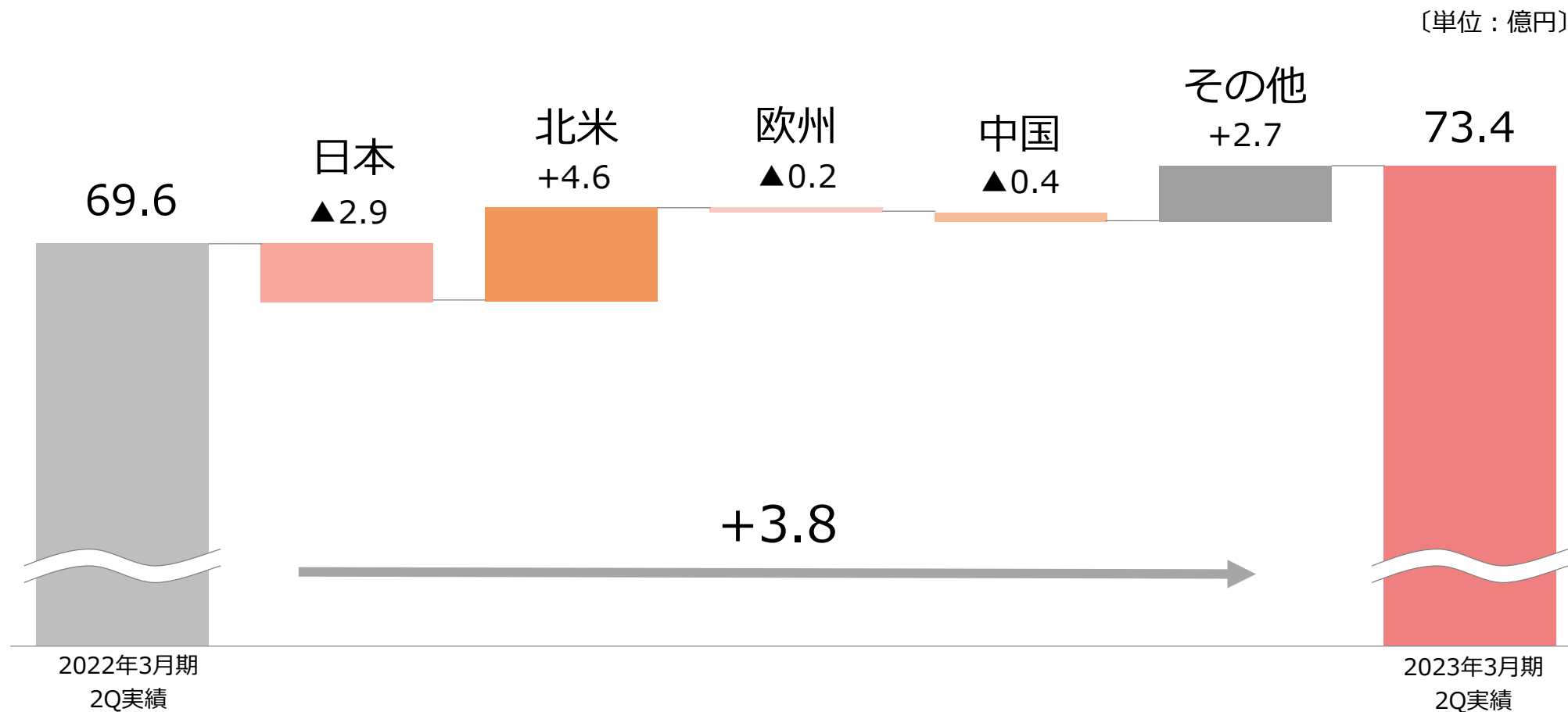
\$	▲77百万円/通期
€	+52百万円/通期

<p>日本 (前年同期比▲4.2%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍による巣ごもり需要は収束傾向も楽器人口は定着 ・ コンクールの評価の高まりを受け、「Shigeru Kawai」などピアノ販売は好調 ・ 中国ロックダウンにより、日本向けの電子ピアノ生産が停滞し、販売に影響
<p>北米 (前年同期比+41.1%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行動制限等の規制が緩和され経済活動が全面的に再開。物価上昇が続くが楽器需要は強い ・ 港湾の混雑緩和により入荷が進み、ピアノ・電子ピアノともに販売で大きく伸長 ・ 供給の改善により、代理店や直営店への販売政策を促進し、アーティストサポートも強化
<p>欧州 (前年同期比+11.1%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウクライナ危機以降、物価の高騰により消費者マインドは冷え込みが増す ・ グランドピアノやハイブリッドモデルなど高付加価値商品は堅調に推移 ・ コロナ特需により伸長した電子ピアノは、普及価格帯モデルが買い控えの傾向
<p>中国 (前年同期比▲15.2%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロックダウン（都市封鎖）などゼロコロナ政策堅持により消費の回復は鈍い ・ 中国ロックダウンは、電子ピアノの生産および楽器販売に影響 ・ 今後の挽回に向け、増産体制や販売回復に向けた取り組みを実施

Shigeru Kawai などグランドピアノ販売は好調に推移
 中国での減少はあったものの、北米・欧州での伸長により前年同期比+8.2億円



電子ピアノは中高価格帯モデルが好調。一方、普及価格帯モデルは需要が鈍化
日本等では減少するも北米やその他地域での伸長により前年同期比+3.8億



2023年3月期 通期 連結業績計画

通期見通しについては前回予想（5/12）を据え置き

中国ロックダウンからの挽回対応に取り組む一方、更なるコスト上昇を懸念

〔単位：億円〕

	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期見通し	前期差異	前期比
売上高	857.0	890.0	+33.0	+3.9%
営業利益 (営業利益率)	66.9 (7.8%)	50.0 (5.6%)	▲16.9	▲25.3%
経常利益 (経常利益率)	73.0 (8.5%)	49.0 (5.5%)	▲24.0	▲32.9%
当期純利益 (当期純利益率)	50.4 (5.9%)	32.0 (3.6%)	▲18.4	▲36.5%
為替レート				
US\$	109.8円	126.0円	+16.2円	
EURO	129.9円	137.0円	+7.1円	

※ 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益です。

「楽器教育」は増収となるも原価高騰等により減益、「素材加工」「その他」は減収減益

〔単位：億円〕

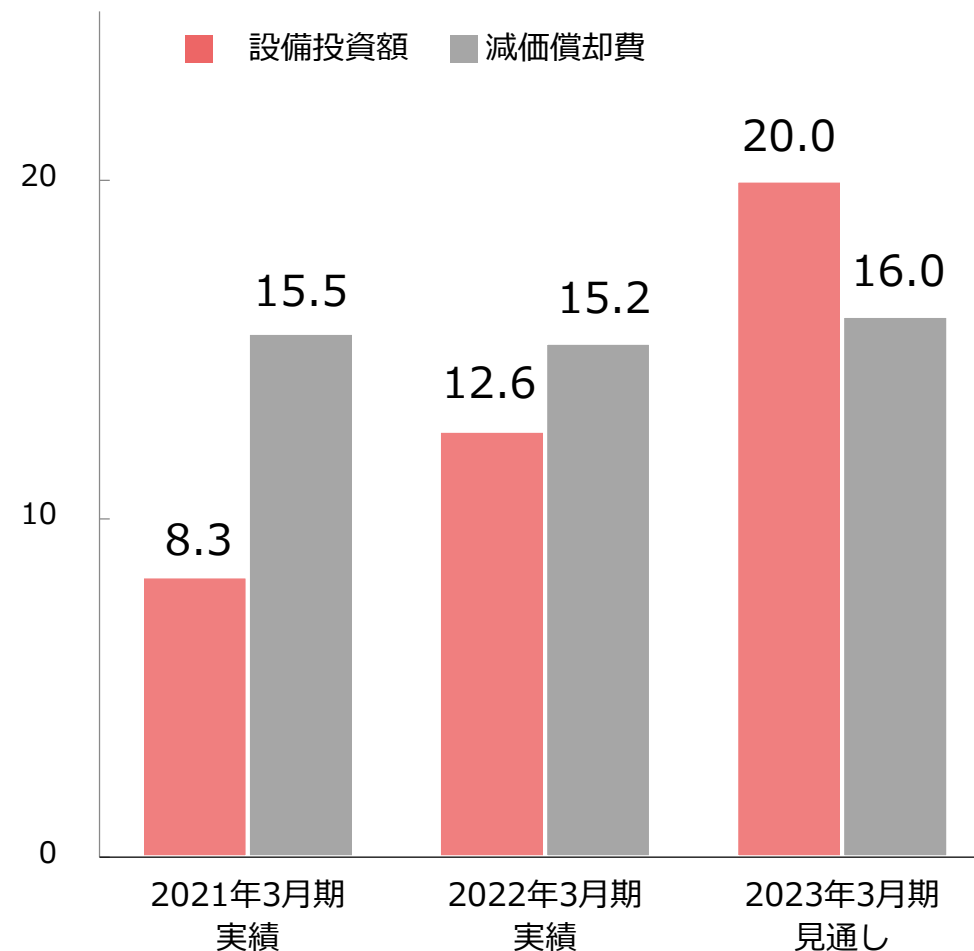
		2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期見通し	前期差異	前期比
楽器教育	売上高	690.3	750.0	+59.7	+8.6%
	営業利益	48.6	37.0	▲11.6	▲23.9%
	(営業利益率)	(7.0%)	(4.9%)		
素材加工	売上高	113.8	101.5	▲12.3	▲10.8%
	営業利益	17.6	13.1	▲4.5	▲25.6%
	(営業利益率)	(15.5%)	(12.9%)		
その他	売上高	52.8	38.5	▲14.3	▲27.1%
	営業利益	1.1	0.6	▲0.5	▲45.5%
	(営業利益率)	(2.1%)	(1.6%)		

設備投資 年間推移

〔単位：億円〕

	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期見通し
楽 器 教 育 生産設備・店舗改装他	6.5	9.3	15.3
素 材 加 工 金属事業生産設備他	1.7	2.2	4.1
そ の 他 情報基盤投資他	0.1	1.0	0.6
合 計	8.3	12.6	20.0

〔単位：億円〕

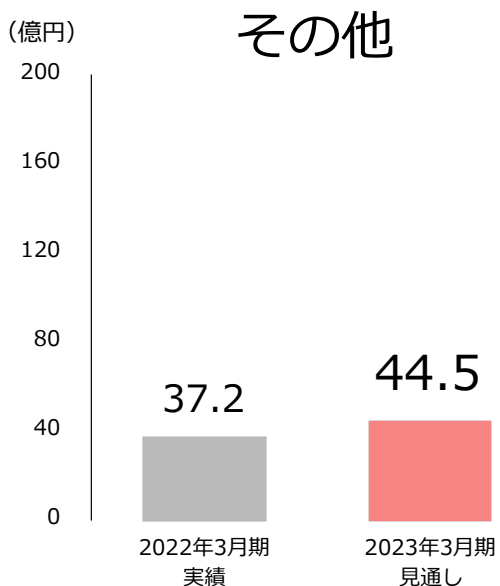
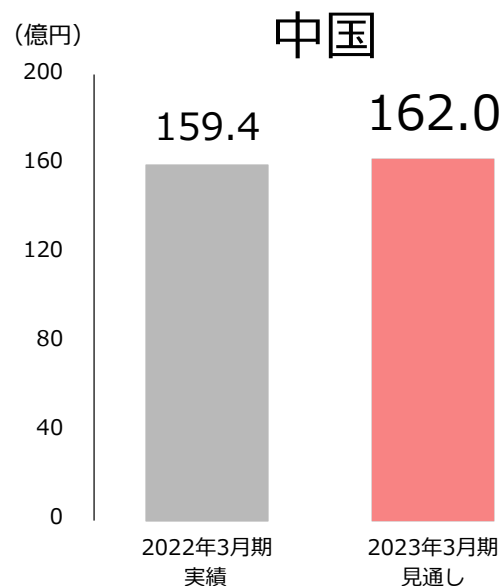
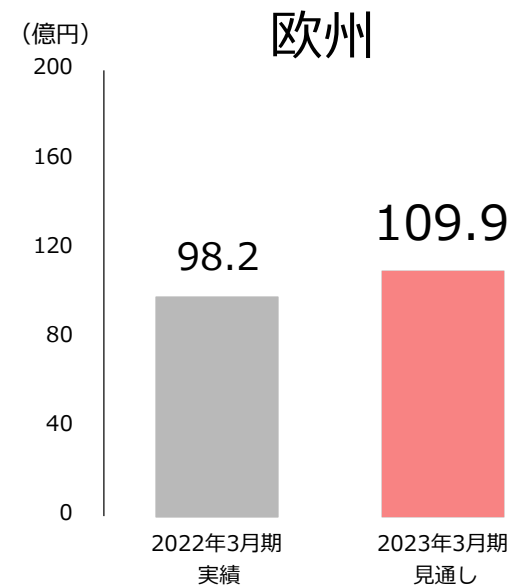
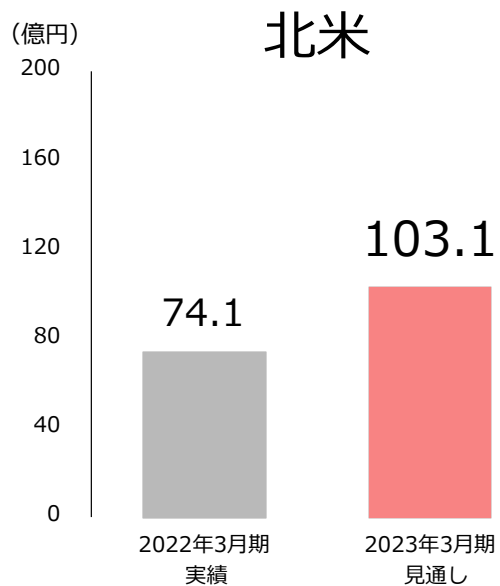
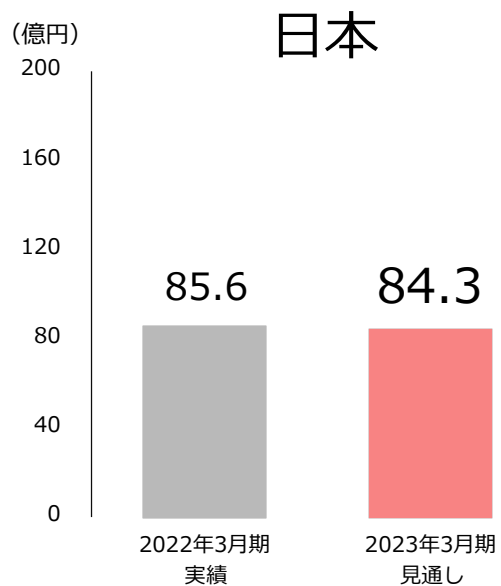


2023年3月期 通期 鍵盤楽器販売の概要

2023年3月期 鍵盤楽器地域別業績計画

KAWAI

もっと伝えたい、感動を。

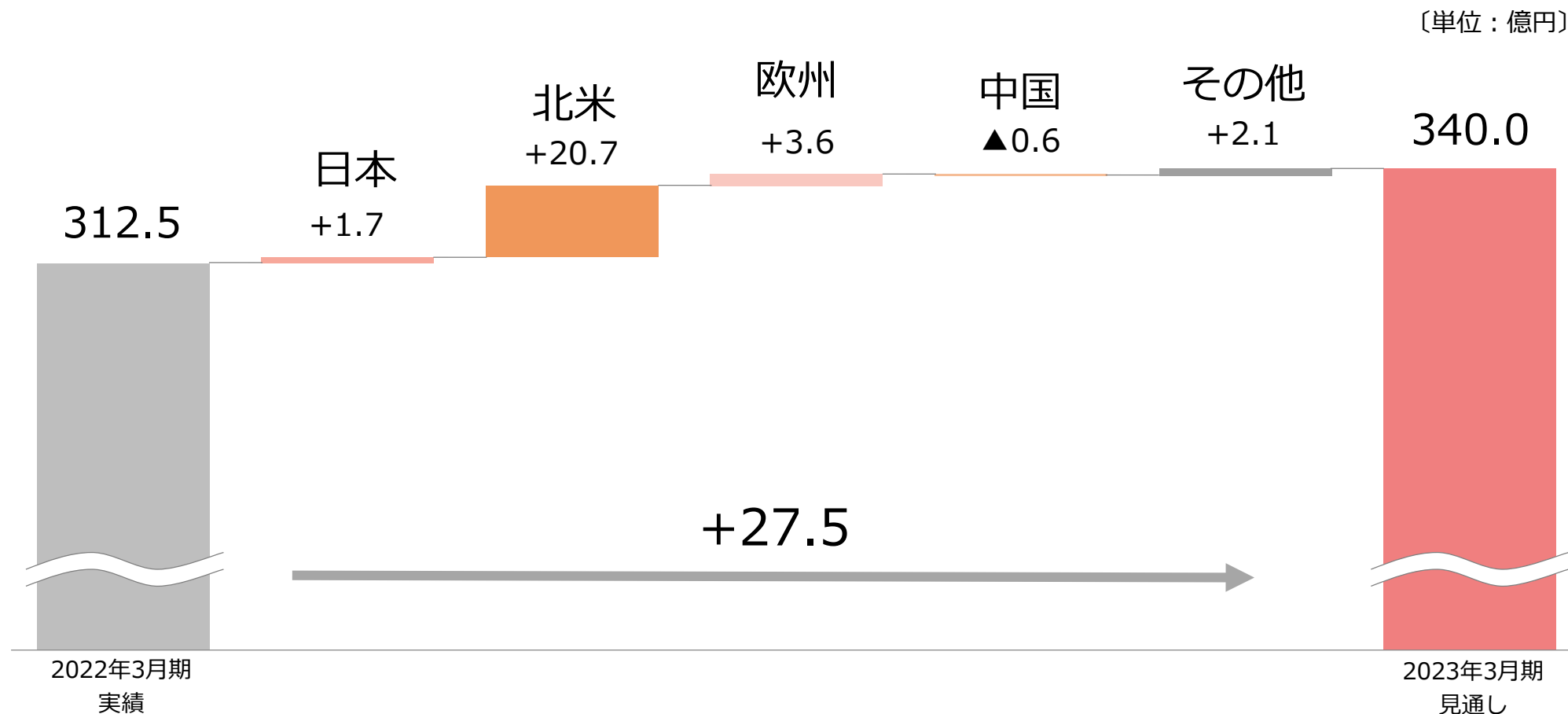


レート	2022年 3月期実績	2023年 3月期見通し
\$	109.8	126.0
€	129.9	137.0

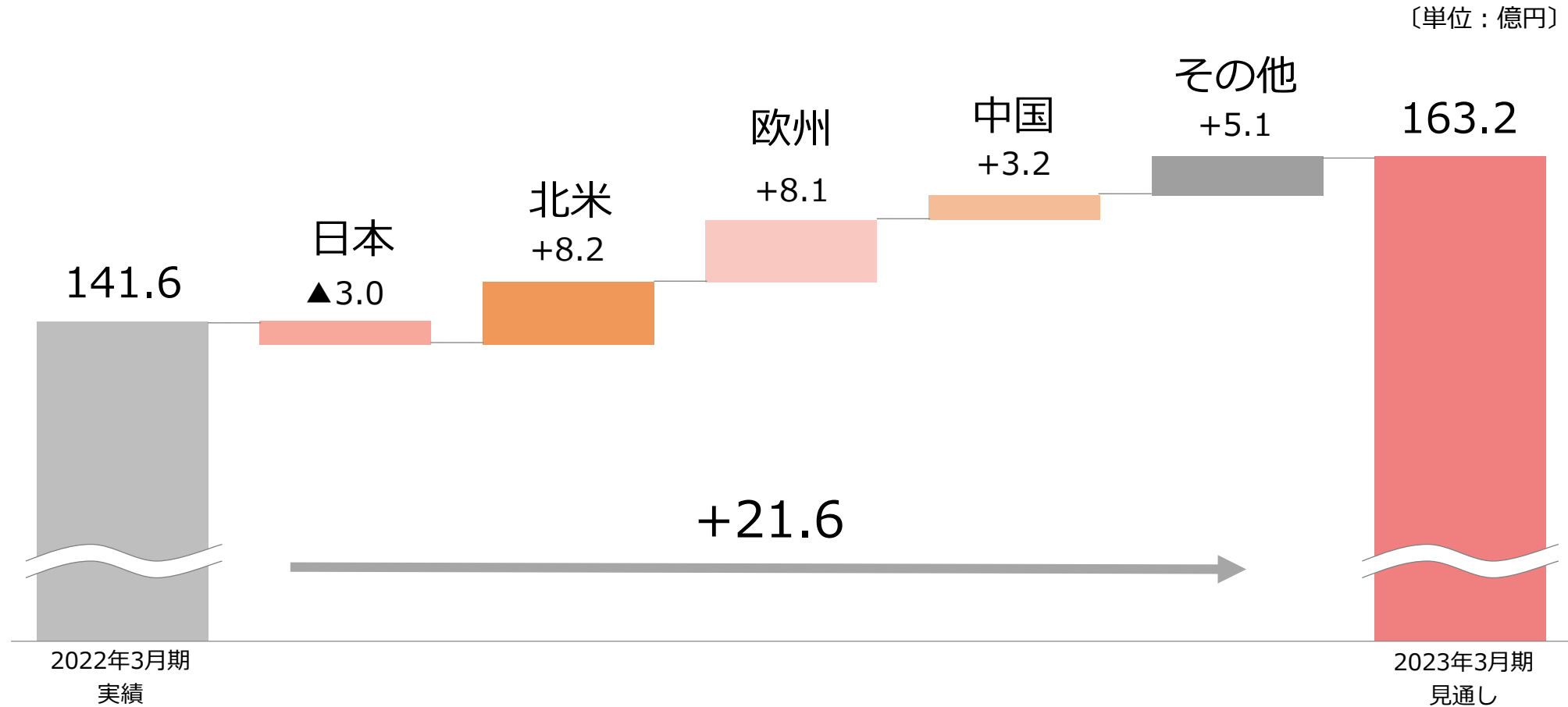
1円 円安変動での影響度【営業利益】

\$	▲56百万円/通期
€	+46百万円/通期

Shigeru Kawaiの伸長などグランドピアノは好調。アップライトピアノは普及価格帯の需要が鈍化
コンクールやアーティストからの高評価を背景に各地で堅調に推移、北米は供給増がプラス要因



巣ごもり需要は落ち着きが見られるものの、中高価格帯モデルの需要は強い
 新製品の投入や北米での供給増、欧州はハイブリッドモデルの好調もあり堅調に推移



重点戦略の取り組み

新型コロナウイルスの影響で大きく変化した事業環境で堅実に成長する為に、下記の戦略に重点的に取り組む

顧客接点の進化

顧客購買行動の変化に適合したプロモーション施策の実施

（リアル施策とデジタル施策の融合により、「より多くのターゲット顧客」に対して、製品・サービスの価値を「より分かりやすく」伝える）

需要拡大領域の強化

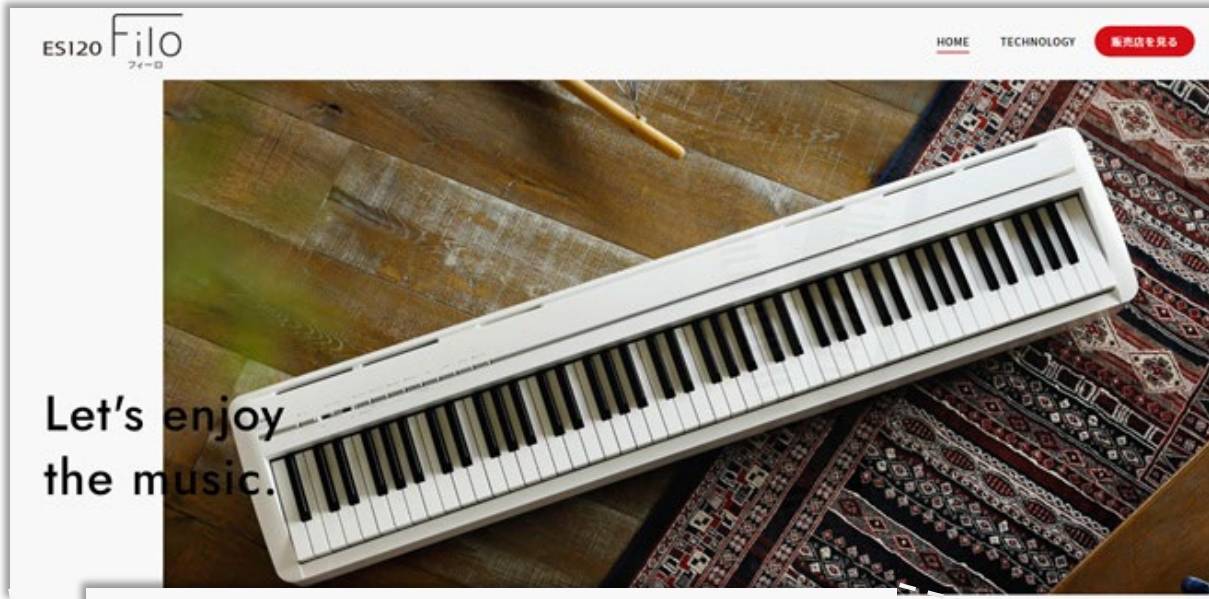
ライフスタイルの変化により特に需要が伸びている
製品カテゴリーにおけるラインナップの拡充と生産体制の増強

コスト増への対応

半導体などの材料費や海上輸送費の高騰によるコスト増に対応する為の生産性の向上と適正価格の設定



製品の魅力を伝える為のデジタルコンテンツの量と質の拡充



DESIGN

スタイリッシュでスマートなボディ、
選べる3色のカラーバリエーション

詳しく見る

フィーロの魅力のひとつは、一本のピアノ弦から着想を得たスタイリッシュでスマートなデザイン。イタリア語で弦を意味する「フィーロ」と名付けられたこのモデルは、どんなお部屋にもびったりマッチするその美しい外観と、ライトグレー、ホワイト、ブラックの選べる3色のカラーバリエーションが特徴です。また持ち運びにも優れているので、好きな時に好きな場所で、演奏をお楽しみいただけます。

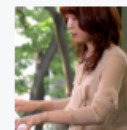


MOVIE



カワイ電子ピアノES120 Filo製品紹介

カワイ電子ピアノES120 Filo ヒグチアイさんインタビュー



ヒグチアイさん インタビュー
ヒグチアイさん×Filo ES120

ピアノをはじめると、一番いいですね。ちゃんと感情を乗せられるピアノだと思います。高いところはすぐキラッとしていて、低いところは持ち上げてくれる。めちゃくちゃKAWAIの音ですよ。ホントに小さい頃からこの音で育った方が、いいんじゃないかなって私は思います。

洗練された大人の
「ライトグレー」



ライトグレーは、床や建具、家具に木材をふんだんに使ったウッディな室内、コンクリートなど素材を生かしたソリッドな室内、どちらにもマッチする、洗練された色味です。しかもライトグレーは、赤や黄色、青といった有彩色のどの色とも相性抜群。あなたのお部屋をより美しく彩ります。

スタイリッシュな
「ブラック」



ブラックはスタイリッシュでありながら、本格的なピアノらしさも醸し出す、高級感のあるカラーです。お部屋に落ち着きを与え、しっとりとした優雅な印象を与えます。じっくりピアノと向き合うなら、ブラックがおすすめです。

明るく華やかな
「ホワイト」



ホワイトは清潔感のある明るいカラー。その存在感は抜群で、まるで陽だまりが落ちているかのように、どこに置いてもお部屋をいっそう華やかに彩ります。また他のカラーとも合わせやすいのもホワイトの特徴のひとつ。カラルなインテリアにもぴったりです。

—ES120特設サイト—

ライフスタイルの変化により特に需要が伸びている製品カテゴリーにおけるラインナップの拡充と生産体制の増強

- ①生産体制の増強を行ったShigeru Kawaiは販売が引き続き好調
- ②電子ピアノの新製品発売によるラインナップの拡充



各種コスト増の影響、各地域の市場環境を踏まえ、価格適正化を随時実施

■ 国内

2022年4月受注分より	グランドピアノ10機種 約2～6%値上げ アップライトピアノ24機種 約5～10%値上げ
2022年10月受注分より	Shigeru Kawaiグランドピアノ5機種 約9～11%値上げ

■ 海外

2022年4月出荷分より	全商品で3～10数%値上げ（地域・アイテム別で異なる）
--------------	-----------------------------

トピックス

需要拡大する電子ピアノのラインナップを一新

CA901 / CA701

木製鍵盤や響板スピーカーなどを搭載
フラッグシップ/ハイスペックモデル
(2022/11 発売)



CN301 / CN201

初心者から上級者まで、ピアノらしさを
追求したスタンダードモデル
(2022/9～ 発売)



ES120

鍵盤タッチとピアノ音にこだわった
ベーシックなポータブルモデル
(2022/9 発売)



フラッグシップモデルから、知育玩具まで、幅広いユーザーに支持されるラインナップ

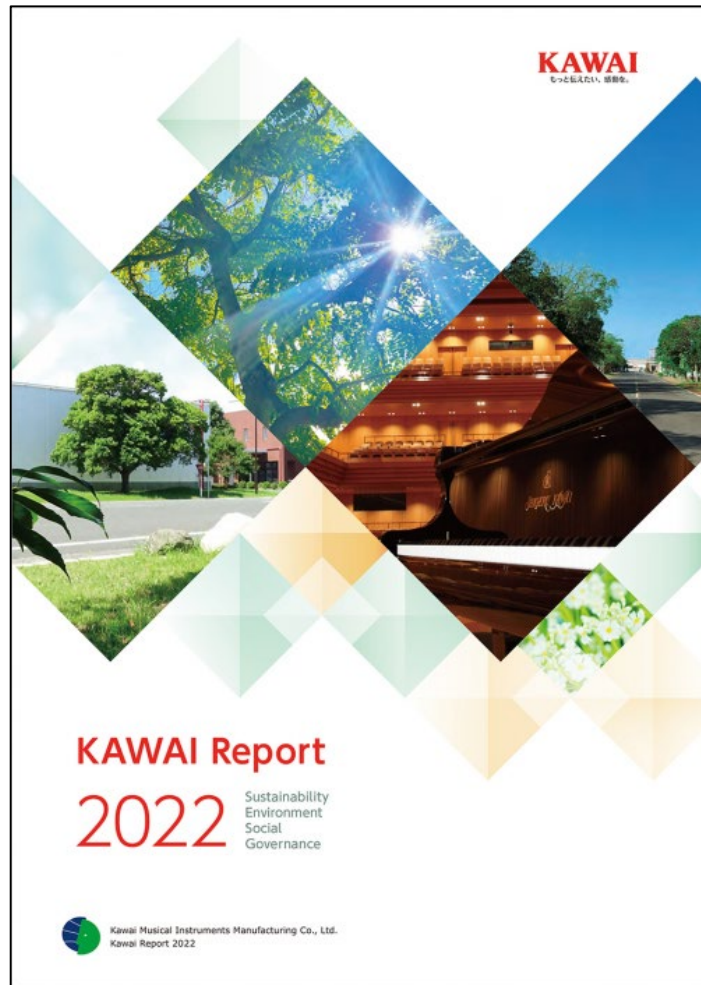
コンクール・コンサート専用モデル
Shigeru Kawai フルコンサートピアノ
『SK-EX』 国内販売開始



ミニピアノ（グランドピアノ）
楽器店大賞2022 「話題の楽器部門」
大賞受賞



より良い楽器づくりと音楽文化への貢献を目的とした企業活動を通じて、
全てのステークホルダーとの協働により持続可能な社会の実現に貢献



コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンス体制／内部統制システム

コーポレート・ガバナンス体制の状況

健康経営
従業員と家族の健康づくりを推進しています

健康経営宣言

環境負荷低減
環境負荷低減の取り組みを推進しています

環境負荷低減の目標と実績

地球環境委員会では、「地球温暖化の防止」や「資源循環と資源の有効活用」を目的として「地球環境憲章」と「環境方針」のもと、環境負荷低減に取り組んでいます。

CO₂排出量と廃棄物排出量の売上高原単位で2018年度を基準年として毎年1%削減することを2019年度～2021年度の3ヶ年計画の目標値と定めました。従って、2021年度は、2018年度比3%削減を目標値として取り組んできました。

2021年度の実績を下表に示します。CO₂排出量原単位は2018年度比15.8%減少、廃棄物排出量原単位は2018年度比17.6%減少となり、目標値を達成できました。

廃棄物に関しては、生産工程の見直しによる不良率の低減や、鋳物製造部門の生産と工程の合理化によって鋳さいの発生量を削減したことなどが大きく影響しています。

指標	年度	2017	2018 (基準年)	2019	2020	2021	増減	評価
地球温暖化防止	CO ₂ 排出量原単位 (kg-CO ₂ /百万円)	311	292	279	278	246	-15.8%	◎
	資源有効活用	279	28.4	26.2	25.0	23.4	-17.6%	◎
(参考値)	エネルギー原単位 (MJ/百万円)	6,201	5,891	5,655	5,636	4,907	-16.7%	-
	廃棄物排出量 (総量) (t)	1,976	2,058	1,869	1,689	2,004	-2.6%	-

評価 ◎: 達成 ×: 未達成

地球温暖化防止の取り組みと省エネ法対応

統制の充実、コンプライアンス体制の整備、経営の業に関する専門的な経営知識と豊富な経験を有するスピーディーな意思決定を目指しています。

報告

選任・解任

取締役会

報告

選任・解任

会計監査人

報告

助言・報告

指示

報告

リスクマネジメント委員会

報告

内部監査室

内部監査

コーポレート・ガバナンス委員会

の諮問機関として「コーポレート・ガバナンス委員会」



KAWAI

もっと伝えたい、感動を。

本資料に記述されている当社の業績予想、将来予測などは、当社が作成時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、経済情勢、販売競争の激化、知的財産権に関するリスクなど、様々な外部要因・内部要因の変化により、実際の業績、成果はこれら見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。